

保護者の皆様

福山市立柳津小学校
校長 吉本 博行ほんこう きょういっかつどう
本校の教育活動についてばいう こう みなさま ひごろ きょういっかつどう しえん きょうりょく たまわ まこと
梅雨の候、皆様には、日頃より教育活動へのご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。ほんこう め ざ きょういっかつどう あたら がくりょくかん しゅたいてき かか ちから そだ
さて、本校が目指す教育活動について「新しい学力観」や「主体的に関わる力」を育てるとい
しゅし りかい かんが おお つぎ てん あらた がっこう
趣旨についてはご理解をいただいていると考えています。しかし、大きく次の2点について、改めて学校の
かんが かつ しめ
考え方を示させていただきます。1 しゅうだんせいかつ
1 集団生活のルールが身につけられないのではないかな。かくじ しゅたいてき まな さき りめん しゅうだんせいかつ たいせつ ちから まな
各自の主体的な学びを支えるのは、裏面にある「集団生活のルールを大切にできる力」や「学びに
む ちから ちから かけてい たいせつ おも がっこう しゅうだんせいかつ ぼ
向かう力」です。これらの力は、家庭でも大切にされていることと思います。学校という集団生活の場
でこれらの力はより磨かれていくべきもので、特に「集団生活のルールを大切にできる力」は、その子
まか かんが せいかつ おく いっぱんしゃかい つうよう げんどう
任せにするものではないと考えています。よりよい生活を送るために、一般社会では通用しない言動を
ほうち ぜんたい しどう こべつ しどう まも なっとく
放置することはしません。全体の指導もあります。個別の指導をしながら、なぜ守るのかについて納得
させることも必要です。場合によっては、皆様の協力を求めることもあります。繰り返しますが、集団
せいかつ ひつよう けいし ほんこう じどう いっしょ かんが
生活で必要なルールを軽視することは、本校はありません。児童と一緒に考えていきます。たど がっこうぜんたい がくしゅうどうぐ わすもの ふ き ほうち
例えば、学校全体として、学習道具の忘れ物が増えていることが気になります。これも放置すること
はしません。忘れ物はしない方がよいに決まっています。なぜ忘れ物が減らないのか、その原因と、どう
すればよいかを、個別に話を進めているところです。(裏面下の①)2 しゅたいてい じゅうし
2 主体性を重視するあまり、身につけていくべき学力が学校でつかないのではないかな。じどう まな たいせつ かんが かつ せんこう じどう ほんらい み
児童の学びを大切にするという考え方が先行しすぎ、児童のやりたいことのみで、本来身につける
べき教科の内容がおろそかになると思われている保護者もおられるかもしれません。公立学校には、お
さえるべき内容が示されています。その内容を、一人一人の児童がどう学ぶかの学び方がより大事に
なってきたということであって、すべてを児童任せにはしません。一人一人が勉強することも、教師
が全体に教えることもあります。(裏面下②) 児童がより良い判断をするためにも教科の学びは必要
です。ただ、教師主導のペースではなく、一人一人の学びのペースもこれまで以上に大切にします。そ
のため、個人への対応のため「マイチャレ」や「トイチャレ」の取組、また、休憩時間や放課後の「ウミベ
ノマナビ」等の時間を作りながら一人一人に合わせた取組を続けます。おも かつ かがい がくしゅう た がくねん ないよう ふく
そうはいつでもと思われる方もおられるかもしれません。家庭学習についても他学年の内容も含めて
かんが かつ ないよう べっし つた ほんこう きほんてき じゅぎょうさんかん かま
考え方や内容を別紙でお伝えします。また、本校は、基本的にいつ授業参観をされても構いません。
さんかん かつ しよくいんしつ た よ がつ こじんこんだん ひとりひとり まな
参観されたい方は、職員室に立ち寄りください。また、8月の個人懇談では、一人一人の学びを
ぐたいてき はな じどう どうせき だいかんげい
具体的にお話しします。児童を同席させていただくことは大歓迎です。みなさま いけん う と とりくみ しゅうせい おこな えんりょ いけん
皆様からのご意見はきちんと受け止め、取組の修正は行っていきます。遠慮なく、ご意見をくだされ
ばありがたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。